

神奈川版オープンイノベーションの取組みについて

生活支援ロボットを最短期間で商品化するため、専門家のコーディネートにより、企業や大学等の各機関が持つ資源を最適に組み合わせて研究開発を促進している。

平成26年度までに5件の共同研究開発プロジェクトを決定し、開発を進めており、平成27年度はさらに幅広い分野での共同開発を促進するため、4月14日から5月15日まで新たな共同開発プロジェクトを募集し、特に早期実用化が望まれている移乗介助分野の「移乗支援および着座ずれ防止車いすロボット」プロジェクトを採択し、立ち上げ当初にかかる開発費等の支援を行う。

また、ロボットの商品化を促進する上で重要となるデザイン支援を実施するため、本年度は必要となる機器を産業技術センターに整備する。

1 平成26年度までに立ち上がったプロジェクト（5件）

プロジェクト名	概要
高齢者向け在宅見守りシステム	高齢者に意識させずに24時間見守ることができるシステムを構築する。
災害対応マルチローター機	火災などの災害時に、上空から情報収集や監視を継続して行うマルチローター型無人飛行体を開発する。
社会インフラ点検と災害対応両用ロボット	平常時は、社会インフラのための検査ロボット、災害時は、倒壊された建物などの瓦礫に入って情報収集するロボットとして活用する両用ロボットを開発する。
移動支援シルバーカー	障害物回避や自律運転などの技術を用いた、車いすロボットタイプの移動支援シルバーカーを開発する。
外出支援アクティブ歩行補助車	上り坂でのアシスト機能や下り坂での制動機能を搭載した高齢者の外出支援ロボットを開発する。

2 新たに立ち上げたプロジェクト（1件）

プロジェクト名	概要
移乗支援および着座ずれ防止車いすロボット	車いすの座面を前後左右に自在に動かす機構を有し、ベッドと車いすの間に橋渡すスライディングボードに座る被介助者をボードごと車いすに移乗することで、被介助者を持ち上げることなく、ベッドから車いすへの移乗を可能とする車いすロボットを開発する。